

中点 (Mid-point) 選択のメカニズム：サーベイ実験による検証

秦正樹¹ 重村壮平² SONG Jaehyun³

¹ 京都府立大学公共政策学部 ² 神戸大学法学研究科 ³ 関西大学総合情報学部

問題背景 & 先行研究

- ▶ 多くのリッカート尺度は奇数個の選択肢が提示され、中点が存在
- ▶ 3つの response style: 黙従反応傾向、極端反応傾向、**中間反応傾向 (Mid-point Response Style)** (Yang et al., 2010)
 - ▶ 日本人は**中間反応傾向**が顕著 (Lee, Johns, Mineyama, and Zhang 2002)
- ▶ 選択肢設計の重要性
 - ▶ 選択肢が増えると政治不信が高まる? (善教 2015)
 - ▶ 社会調査の多くは選択肢が奇数個のリッカート尺度で構成
 - ▶ 回答者にとって中点が DK/NA の一種として存在する場合、推定の不確実性が高まる可能性も

調査概要

調査名：第26回参議院議員選挙に関する意識調査
調査対象：楽天インサイトに登録した18歳以上の日本人6719名（第1波）、5201名（第2波）

- ▶ 分析に必要な変数が欠損しているケースは補完せず、分析から除外

調査期間：2022年7月6~11日（第1波）/7月21~31日（第2波）
調査方法：性別・世代・地域を国勢調査結果に合わせた割付WEB調査
倫理審査：神戸大学大学院法学研究科 IRB（受付番号: 04002）

実験概要

- ▶ 「○○があるからこそ国民の声が政治に反映するようになる。」
 - ▶ ○○：国会、政党、選挙、マスコミ（計4問）
 - ▶ ベース選択肢：1. そう思う、2. ややそう思う、3. ややそう思わない、4. そう思わない、5. 答えたくない
 - ▶ 質問文に応じて中点の選択確率が異なるため (Velez et al. 2007)、質問文を固定
- ▶ 回答者を3つのグループに無作為に割り当て
 - グループ1: 中点の位置が3番目（2と3の間）
 - グループ2: 中点の位置が5番目（4と5の間）
 - グループ3: 中点なし
- ▶ 回答形式はドロップダウンリスト式のSA

分析モデル

分析1：誰が中点を選ぶか？

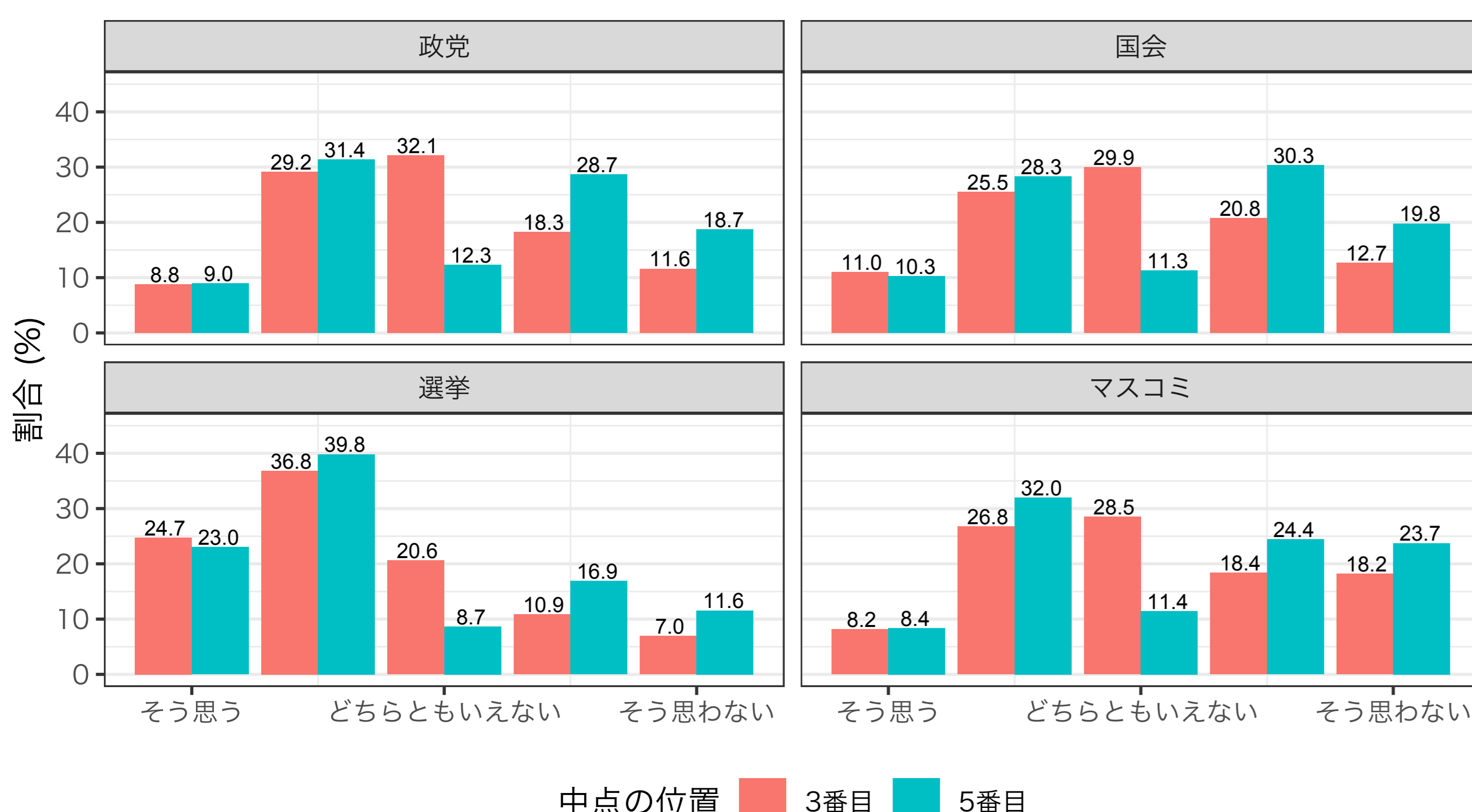
- ▶ 中点選択のメカニズムは中点位置と独立しているか
- ▶ 中点選択の有無を応答変数としたロジスティック回帰分析をグループ（1と2）ごとに実施

分析2：より「まし」な中点の位置は？

- ▶ 政党・政治家に対する感情温度（計12項目）の平均値を応答変数、応答性質問を説明変数とした線形回帰分析をグループ（1と2）ごとに実施し、適合度を比較
- ▶ 感情温度の平均値が低いほど、「政治離れ」
 - ▶ 三宅（1985）、品田（2006）を参考；感情温度の最大値で「政党離れ」を推定
- ▶ 以降の結果はサンプルから satisficer を除いても維持される

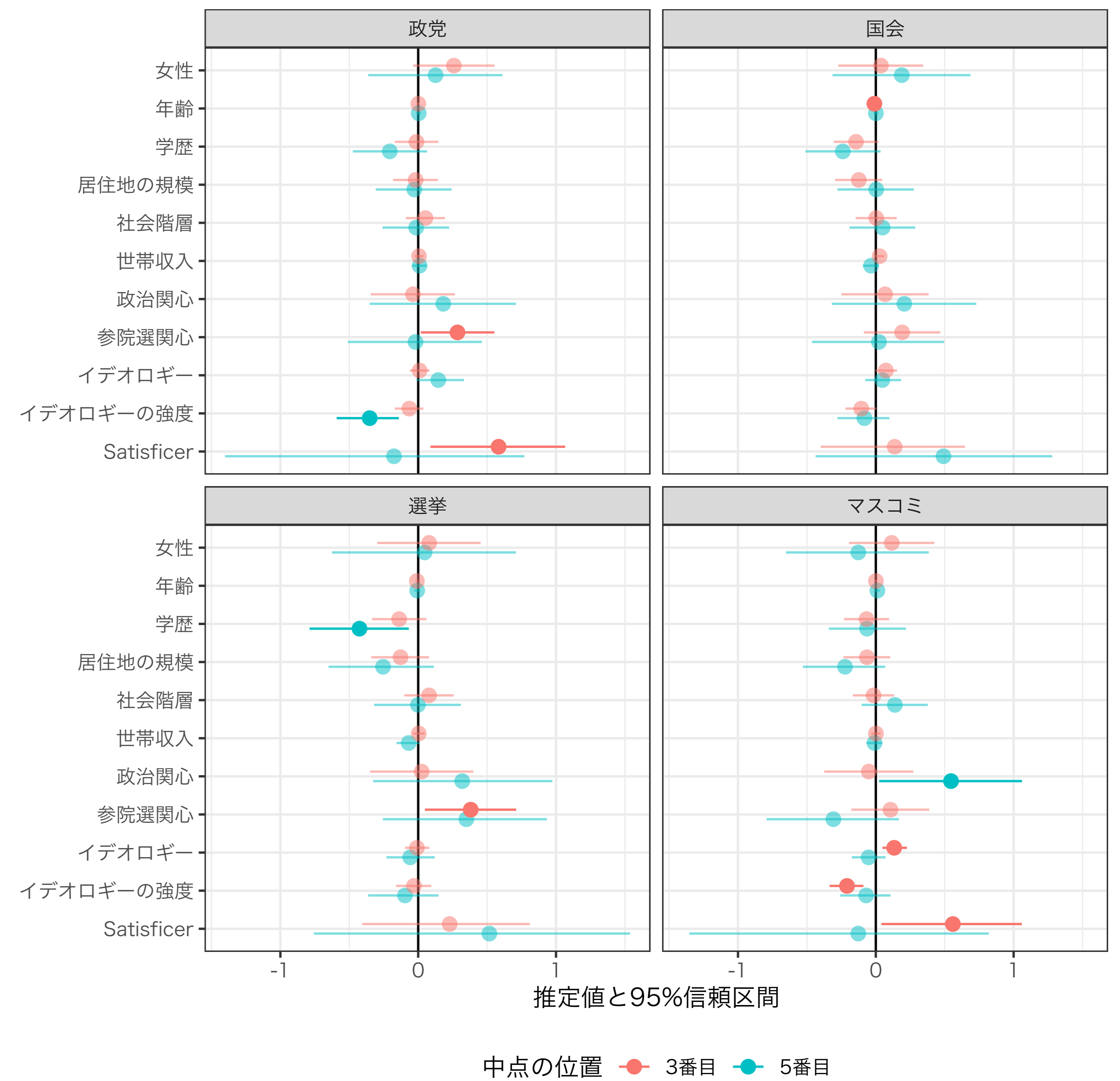
回答の分布

- ▶ 中点が5番目に位置する場合、中点を選ぶ回答者が大幅に減少
- ▶ 「答えたくない」率は、ほぼ同程度（約3%）；ただし、中点なしの場合は約5%
- ▶ 中点周辺のみならず、「そう思わない」も大幅に増加
- ▶ 中点周辺も「ややそう思う」よりも「ややそう思わない」が大幅に増加



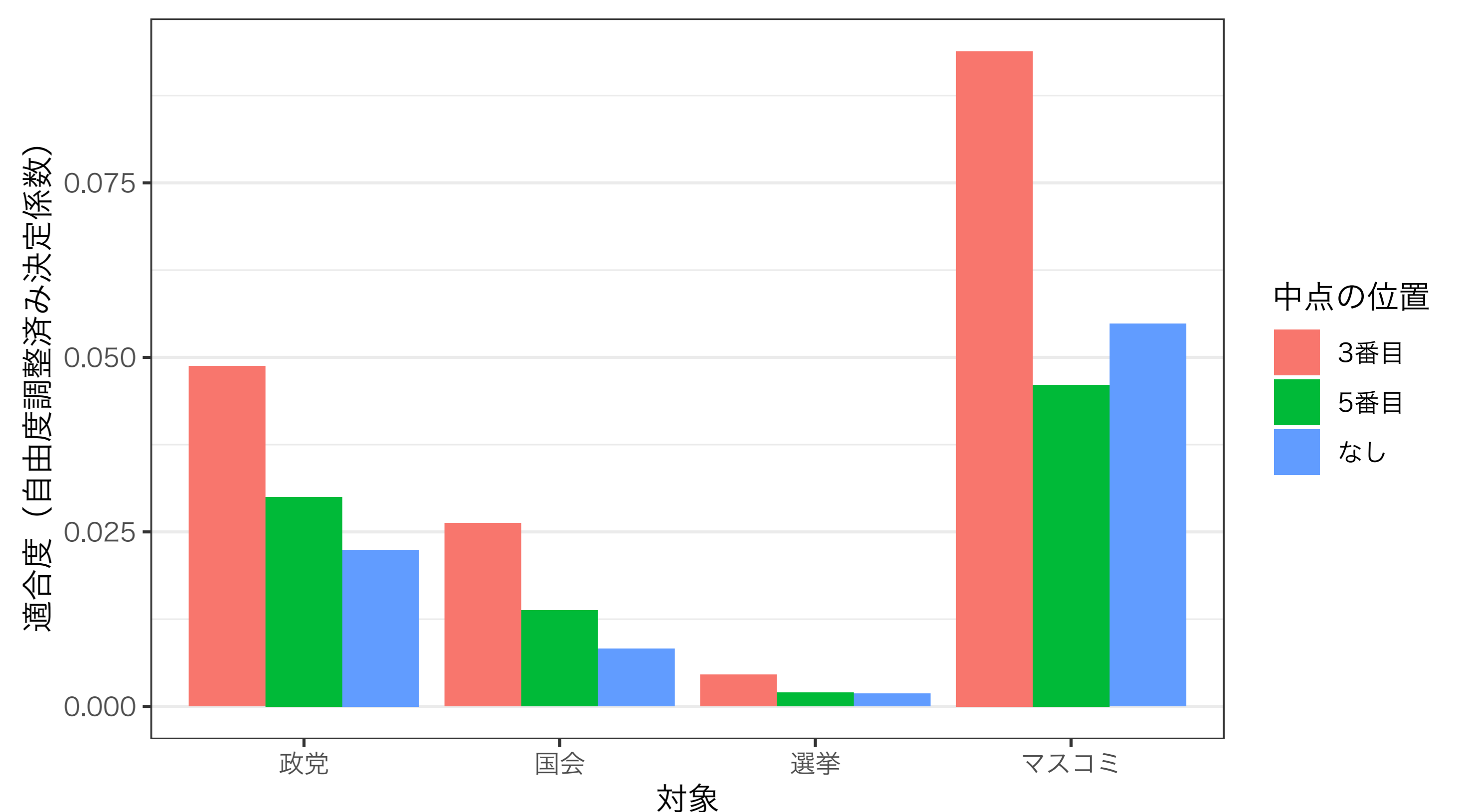
分析1: 誰が中点を選ぶか？

- ▶ 中点の選択メカニズムが中点の位置と独立している場合、係数は概ね同じ傾向を示すと考えられる
- ▶ 個々の係数の差は見られるものの、全体的に係数間（3番目 vs. 5番目）の差は大きくない
- ▶ 中点の位置により、選択メカニズムが異なるとは考えにくい



分析2: より「まし」な中点の位置は？

- ▶ 中点の位置が3番目のグループにおいて適合度が一貫して高い
- ▶ 参考) 参院選投票有無を応答変数、選挙の応答性を説明変数としたロジットでは...
 - ▶ 共変量なしの場合は中点なしが適合度が最も高い
 - ▶ 共変量ありの場合は5番目が適合度が最も高い（ただし、大きな差はない）



結論と含意

- ▶ 中点の位置による中点選択割合の変化は大きい（約18%p）
 - ▶ 平均27.8%（3番目）↔10.9%（5番目）
- ▶ 中点の位置が5番目の場合、中点周辺の選択率が上がるものの、バランスしているとは言えない。
 - ▶ 「1/2」の増加幅 << 「4/5」の増加幅
 - ▶ 日本人は「真ん中」を選ぶのか、「3番目」を選ぶのか（「3」好きの日本人?）
- ▶ 中点の位置と選択のメカニズムの違いは発見されず
- ▶ 暫定的な案として「3番目」を推奨
- ▶ 今後の課題
 - ▶ 5件法以外のリッカート尺度への一般化
 - ▶ 中点以外の項目を無作為に逆転した追実験が必要（中間好きか、3番目好きか）